

友だちできたよ！

中学生マレーシア派遣団報告

岩倉市は中学生海外派遣事業として今年もマレーシア・パハン州テメロー市のホームステイ村に14名の生徒を派遣しました。8月20日に出発、28日の朝の帰国までの8泊9日の日程の中で、派遣団はホームステイ村での4泊のホームステイ、今年、初めて交流した Abu Bakar High School の生徒宅での1泊ホームステイも体験しました。

また、Kerdau High School にも3日間登校し、マレー系、中国系、インド系の生徒たちに交じって、授業に参加したり、お互いの国の紹介をし合ったり、楽しく交流しました。

クアラルンプールの市内観光やセントラル・マーケットでのショッピングも楽しい思い出になりました。

毎年、恒例の象保護区での象とのふれあいの他に、特別企画で洞窟の探検、プロの指導でバティックの色つけ、サトウキビのジュースしぼりなど、さまざまな体験ができました。

この時期はちょうどイスラム教の人たちは「ラマダン(断食)」の最中でした。8月11日から1カ月、信者は日の出から日没の間、食事はもちろん水もタバコも口にすることはできません。地域によって時間が異なり、滞在したテメローでは、早朝5時半くらいから夕方7時半ごろまでが断食時間でした。7歳くらいからこのラマダンを体験するそうです。暑い気候の中でも、水も飲むこともなく過ごす現地の人々の宗教心の厚さに驚きました。そんな中、派遣団にはきちんと食事を用意してくれたホストファミリーのみなさんにあらためて感謝します。

(この派遣事業は国際交流協会が平成16年から受託事業として、企画、引率等を担当しています。)



マレーシア派遣に参加して

たくさんやさしさを！

ホームシックになったときに「なぜ泣いているの？」と心配してくれたり、不安にならないようにたくさん話しかけてくれました。そして、「ここはマレーシアのあなたの家よ。」といってくれました。並んで座ってご飯を食べ、マレー語と日本語を教え合い、伝統的な遊びのチョンカなどをしました。

日本に戻り2学期が始まってから、前よりも授業で手を挙げられるようになったり、話したことが無かった子に自分から声をかけたりしています。初めてマレーシアを経験したことで、前よりも積極的になれたのかもしれませんが、

(岩中3年 杉村紗和)

一緒に笑った！

マレーシアで、一番楽しかったことは、現地の人たちとの交流、特に会話です。

私が一番不安だったことは、言葉です。でもマレーシアの人たちは、みんな本当に温かくて優しく、不安もすぐに吹っ飛びました。ホストは嫌な顔ひとつせず、何度も私が分かるまで伝えようとしてくれました。やっと理解できたときは、一緒に笑いあって喜びました。その瞬間が一番うれしかったです。毎日楽しくて、貴重な体験がたくさんできて、とても充実していました。またマレーシアに行きたいです。

(岩中3年 榎谷知歩)

マレーシアからやって来ます！

マレーシア政府観光省の派遣団が今年も岩倉へやって来ます。一行は80名程度の予定ですが、そのうち28名が15・16歳の学生です。この学生たちは全員がこの夏岩倉からの派遣団と交流し、ホストも務めてくれています。再会が楽しみです。学生たちは市内の中学生宅を中心にホーム



ステイをし、中学校の授業も体験します。

プロのダンサーによるマレーシア伝統舞踊のステージと共に代表的な料理ロッチェーチャナイ等の試食ができます。(参加費、無料) お出かけください。

マレーシアの夕べ in 岩倉

11月28日(日) 15:00~17:00

くすのきの家

ジョン・ギヤスライトさん講演会のお知らせ

岩倉市教育委員会による生涯学習講座で、多文化共生社会をテーマとした行政講座が開講されます。その一講座を本協会と共催で、タレントで中部大学教授でもあるジョン・ギヤスライトさんによる講演会を開催します。どなたでも無料で参加できます。ぜひお越しください。

日 時：2月5日(土)14:00～15:30

場 所：岩倉市生涯学習センター研修室

プログラム：「森が生きる勇気をくれる」

問合先：岩倉市生涯学習センター

0587-38-0100

日本語教室に参加して

私が日本語教室に入ったのは“外国のお友達を作りたい”という気持ちからでした。日本語を教えるための資格も経験も何もない私ですが、「私は日本人なのだから、日本語なら何とか教えられるでしょう。」という安易な気持ちで参加しました。

しかし、教えていくうちに自分の日本語がいかにあいまいなものであったか、説明のできないことがいかに多いかを痛感しました。時には日本語の文法をしっかりと勉強している生徒さんのほうから教えてもらうこともあり、「私、日本人何年やっているの？」と自分に問いかけることもしばしばです。

時には、生徒さんたちは、日本語を教えてもらうだけでなく、いろいろな相談事までも持ってきます。「この手紙は何？」「どうしたらいいの？」「どこへ行ったらいいの？」代読から、子育てまであらゆることを相談してきます。それに対して、先生方は自分のやれることは時間の許す限り、お手伝いをしてみえます。「自分がもし、彼らのように言葉のわからない国で問題が起きたらどうする？誰かが、親身になって手助けしてくれたらうれしいでしょう。」と先生方は言われます。

無償で一生懸命に教えてくれる先生方の姿勢に生徒さんたちも感謝し、母国のお土産を持ってきてくださったり、お菓子を作ったりしてきてくれます。食べたことのないものを口にするときは、私はまず、頭の中をリセットします。

そして、勇気と笑顔を用意して、挑みます。

彼らが喜んでもらえるだろうと思って持ってきてくださったものなので、おいしくないわけがありません。「パクッ。」食べた瞬間にその国を感じます。そして、彼らの優しさを感じます。

日本語教室で一番うれしいことは、生徒さんも先生たちもいつも笑顔だということです。

「こんばんは。」「元気？」「調子はどお？」今日もまた、楽しい日本語教室の始まりです。(鳥井)



世界のお惣菜を開催しました



10月11日に岩倉市生涯学習センター料理室にて今年度第2回目の世界のお惣菜タイ編を開催しましたので、ご報告致します。講師は、日本語ひろばで学習している菅井ギジヤマチャーさんです。お国の家庭料理を紹介して頂きました。

献立はグリーンカレー/鶏肉の香草炒め/春雨サラダ/タピオカと煮とうもろこしとココナッツデザートの種類です。参加者の方々から、タイ米にグリーンカレーは、少々辛いんだけど美味しい、再現したい味との声もありました。全体に辛いとの感想が多くありましたが、さっぱり味の春雨サラダで一息、タピオカとココナッツデザートの甘さで辛味解消。総勢27名の参加者あり、瞬く間に、時は過ぎて、楽しい一日となりました。

ふれ愛まつり～アジアの衣・食・写

いわくら市民ふれ愛まつり、今年も出店します！
今回はアジアをテーマにカップラーメンの販売と
民族衣装の試着コーナーを予定しています。

日時：11月6日（土）10:00～16:00

7日（日）9:00～15:30

場所：総合体育文化センター駐車場

カップラーメン：マレーシア、韓国、タイのラーメン
キャンディ付きで1個100円



民族衣装：試着1回100円、写真撮影1枚100円(希望者のみ) 昨年度のふれ愛まつりの様子

ふれ愛まつりに合わせて一泊二日のホームステイを行います。ゲストはJICA（国際協力事業団）研修生と名古屋芸術大学の学生さんです。ごく普通の日本人の日常生活を楽しんでいただきます。ホストファミリー常時募集しています。ご協力をお願いします。井上(0587-66-3192)

募 金 の お 礼

お母さんが安心して子どもを出産することは、世界共通の願いではないでしょうか。ボトンことDr.Cuyugan（フロリダブランカ市の保健所長）から「妊婦検診用機器が老朽化し、胎児や母体の安全も保障できない」とのメールが届き、COM66号で協力をお願いしました妊婦検診用機器の募金にご協力いただき、ありがとうございました。訪問団員OBをはじめ、協会会員の皆様からも募金をお寄せいただき、ボトンさんの診療所へ機器を贈ることができました。



皆様の協力をいただき贈ることができた機器が活用され、無事に生まれた子どもたちと、心と心が結ばれる交流が続いていくことを願っています。皆様の協力に感謝申し上げます。

会員継続手続き及び新規会員募集のご案内

事業は会員の会費と岩倉市国際交流事業補助金で運営されています。会員継続手続きをされていない方は、下記へお振込みをお願いします。また新規会員も受け付けています。新規会員の申し込みは下記申込先、問合先にご連絡をお願いします。

会費振込先 いちい信用金庫愛北営業部 普通預金 1016300

口座名義人 岩倉市国際交流協会 内藤和子

会 費 家族会員3口（3千円）以上

問 合 先 内藤（0587-66-7347） 出野（0587-37-2495）

堀尾（090-3421-4088） 竹安（090-1230-2444）

会報 COM第67号（2010年11月1日） 事務局 〒482-0021 岩倉市新柳町3-21-2（内藤方）

発行 岩倉市国際交流協会

TEL・FAX 0587-66-7347

印刷 大橋印刷所

http://www.iies.info/